

令和5年(2023年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年1月 数 量 (トン)	2023年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。太物中心の入荷であったため、数量はかなり増加しました。平均単価もかなり高く推移しました。	717	106	127%	141%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。順調な生育により数量はかなり増加しました。平均単価もかなり高く推移しました。	838	57	123%	136%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。寒波や低温の影響により、数量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	245	522	83%	136%
4		ほうれん草	低温や乾燥の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価もやや安く推移しました。	69	632	97%	96%
5		馬鈴薯	北海道産の入荷は前年を下回る結果となったが、九州産が例年より多い入荷となったため、数量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	384	131	129%	53%
6	果 実	みかん	愛媛県産中心の入荷でした。、数量は前年並みで推移し、平均単価は高く推移しました。	704	308	99%	111%
7		りんご	青森県産中心の入荷でした。前年より生産量は増加したが天候の影響で下級品が多くなりました。数量は大幅に増加し、平均単価は安く推移しました。	256	305	159%	82%
8		いちご	前年の入荷量が少なかったため、前年と比べると数量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	126	1,796	116%	90%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上